

2012-2013年度を振り返って

国際ロータリー第2660地区 ガバナー 高島 凱夫



2010年、ガバナー指名委員会(委員長:横山 守雄 PG)から、ガバナーノミネーを拝命して、ノミネー、エレクト、ガバナーの足掛け3年間、地区内クラブの皆様、諮問委員会の皆様、8人のガバナー補佐の皆様、地区委員会のその折々の委員長・委員の皆様には心温まるご声援、ご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

2012～2013年度のRI会長は、30年ぶり3人目の日本人 田中作次さんということで、日本中のロータリアンが期待を持ち、盛り上がりを見せた年でした。

2012年1月のサンディエゴでの国際協議会において、田中作次さんから「Peace Through Service～奉仕を通じて平和を」とのRIテーマが示されました。

平和とは、一人ひとりが心穏やかに日々を生活していくことを意味し、このことが、ロータリーの究極の目的で、ロータリーにしか出来ない世界平和に通じる道であるということです。平和とは、行動・言論の自由があり、安心して、未来に向かって生きることが出来る状態です。平和の根本は、幸福感とか心の平穏、心の静けさであるということを今一度お考え下さい。

地区方針は「育もう未来の力を～飛躍～」とし、青少年の「こころ」も「からだ」も健全な「未来の指導者」の育成と、若いロータリアンの増強、育成をお願い致しました。

私のリーダーシップのなさのため、会員増強は「絵に描いた餅」に終わりました。しかし「会員増強は永遠のテーマだ」とおっしゃらず、今ここで奮起をしないと「ロータリーの危機」となることをご認識戴きたいと思います。

クラブ公式訪問の際「創立20年のクラブ、30人のクラブで良くガバナーを出しましたな～」というお言葉に、「何とか頑張っています」とお答えしてきました。

歴史が永く会員数の多いクラブとは、少し異なる考え方と地区行事等の運営の在り方を工夫し、他クラブの協力を得ることによって、少人数クラブでもガバナーを支えるホストクラブに成り得るものだとの気概をもって取り組んでまいりました。

特にPETS、地区協議会、地区大会の三大大行事には、代表幹事、地区幹事団、ホストクラブ、コ・ホストクラブが一体となり取り組みました。その結果、不行き届きなどところもあったかと思いますが、無事終了することが出来ました。

最後になりましたが、非力な私を支えて戴きました村橋義晃地区代表幹事、杉村雅之副代表幹事、ガバナー事務所 今井貢二さん、栗正久美さん、春名志保さん、納多寿恵子さん、地区大会事務局 小林久美枝さんには言い難いご苦勞をお掛けしました。この紙面をお借りし、心から御礼を申し上げます。